はやぶさ　第２４８号　　２０１７年０８月０４日

＝＝

助成金の利活用で事業の収益性・成長力を加速/転換を実現する

６回シリーズ　第６回（最終回）：番外 IPO による資金調達＝より大きな資金の獲得実績

著者： PDB マーケティング

代表取締役　藤田　幹夫

＝＝

＊収益力 UP！成長力 UP！を実現したい企業は、
　公的資金（厚生労働省助成金）を利活用して　スピード UP！
　申請資料作成と必要資金の手当ても全面的に支援します。

＝＝

第６回（最終回）：番外 IPO による資金調達＝より大きな資金の獲得実績

2017 年６月 30 日から、６回メルマガを担当してきました。今回は最終回です。
何らか、参考となる情報を提供できたことを期待しています。

私から経営者への提案は「今こそ助成金で事業の加速/転換を実現する」です。
そのために、助成金に関連する私の経験をご紹介してきました。

①今回は、番外として助成金ではなく、IPO 新規の株式公開＝上場による資金調達です。
いくつかある選択肢の一つとして挙がってくるかと思います。

私は 2005 年に IPO を経験しました。
これについても、専門家といわれる一部公認会計士、証券会社が伝える誤った情報が
あります。
「上場できるのは利益が出ている優良企業」「内部管理体制を充実させないとダメ」
これは IPO の要件ではありません。

ある意味では助成金と同じで、証券取引所が定める IPO の要件を満たすこと、つまり
定められた書類の準備です。もちろんこれが容易ではないわけです。
A4 バインダーで３メートル程度です。量だけではなく内容もすべてが審査対象です
から、容易ではありません。
上場コンサルなどの登場要素ですが、経営者が自分でやれば確実です。
ただし、今利益が出ているか、管理体制が十分かは問われません。

②記述すべきは、上場後の計画です。
計画を取引所、証券会社が審査し、承認となります。
私の場合は、その後の増資を含めて、15 億円ほど資金を調達し、すべて研究開発
と新規事業へ投資しました。資金調達とその使途は計画通りです。

問題は、売上利益です。IPO の要件ではありませんがその後の事業会社としての

存在がかかります。4 年間上場企業として、技術開発投資による新規市場創出を目指してきましたが、実現せず事業閉鎖です。
何度もやれるものではありません。

当時から、アメリカではベンチャーキャピタルが、10 億円程度の資金供給を行っていましたが、日本では 1 億円程度が上限。
それ以上の資金調達は新興市場 IPO でした。
今は、非上場ニュースサイトなどに 10 億円を超える資金が投入されるなど変化があるようですが、普通の事業で投資家の関心を引くのは困難です。

＊勝負をかける局面での IPO は有効で、その気になれば実現できます。
そこに至るまで、ある意味で日常的に発生する、新規事業の着手資金、変革のきっかけとする 100 万円を確実に取得できるのが、厚生労働省の助成金です。

＊6 回にわたって、助成金活用のすすめを体験から書いてきました。

具体的な助成金の申込方法などは「はやぶさ」事務局にお問い合わせください。
申請書の作成などは、私が経験をもとに対応し、事務局と検討を重ね、「はやぶさ」読者の方へ最適なサービスに努めてきています。

事務局のアドレス
happy@keiei-tokkunshi.jp

ご愛読ありがとうございました。

◆次回８月 11 日（山の日）は夏休みのため**休刊**いたします。
２４９号は８月 18 日(金)になりますのでよろしくお願いします。
良い夏をお過ごしください。

▼作者プロフィール：

・氏名：藤田　幹夫（ふじた・みきお）66 歳
・出身：香川県丸亀市
・出身高校／大学：香川県立丸亀高校／京都大学理学部
・役職：PDB マーケティング　代表取締役
・mail:fujita@p-db-m.com

・経歴：1974 年　株式会社日本ビジネスコンサルタント（現日立システムズ）入社
1987 年　兼（財）データベース白書編集委員 2008 年廃刊まで
1996 年　ソフト流通会社年商 300 億円/社員 300 名の清算。
2005 年　起業会社をセントレックス市場に IPO
2009 年　市場開拓ができず代表退任
2009 年　PDB マーケティング株式会社代表就任（現在）
コンテンツ市場開拓/MA,資金調達支援コンサルを実施。
2017 年　学生起業促進を目的として京都移転（現在）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝　お知らせ　＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

収益力 UP! 成長力 UP！ 公的資金・利活用でスピード UP！
ビジネスドックを受診するとこんな成果を約束いたします。

◆かかりつけ医が、ワンストップで補助金・助成金等（その①②③）の手順を設計！
その①厚労省系助成金が、基本助成金プラス生産性 UP で加算の可能性！！
その②経営計画策定で、20 万円（2/3）が受けられます！（補助金）
その③3 年間固定資産税が半額に！！（経営力向上 認定）

詳しい補助金、助成金の受け方は、

URL；http://xn--fiqztj72ae5m.net/wp/wp-content/uploads/2017/05/HosBiz_BDC170524.pdf
を参照ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

■■「中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク=MSDN」対応　HP　開設■■
“かかりつけ医”とはどんなお役立ちなのかを是非知って、ご活用ください。
新設しましたので、ご高覧いただければ幸いです。

http://xn--fiqztj72ae5m.net/
中小企業．Net
＊スマホでもご覧いただけます＊＊＊
リンクは。会員オンリーですので、ご連絡ください。

＊中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク=MSDN」のねらい
私達は、８０%以上の人々が働いている中小企業、小規模企業が「進化・発展、持続」しなければ、世の中は良くなることはないとの信念で、経営者との信頼関係のもとで育成経営支援に取組んでおります。

◆目的◆
イノベーションの時代・中小企業の「進化・発展・持続」の実現！

◆“かかりつけ医”とは、中小企業・小規模企業の育成経営支援を使命とし
経営者を親身になってサポートする専門家（税理士・診断士・社労士等）で、
3Win の実現を推進する企業の主治医（ビジネスドクター）です。

＊3Win=経営者・育成経営支援家・地域がお互いに繁栄する=
http://xn--fiqztj72ae5m.net/　中小企業．Net

◆次回８月 11 日（山の日）は夏休みのため**休刊**いたします。
２４９号は８月 18 日(金)になりますのでよろしくお願いします。
良い夏をお過ごしください。

＊＊

経営環境の創出・適応して「安心・安全」の企業経営ができる、お役に立ちますように
「中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク＝MSDN」を構築推進しております。

◆企業経営の「安心」とは、いつでも経営者が使えるキャッシュが手許にあることです。
「安全」とは、企業経営のカジ取り（行き先・アクセル・ブレーキ）を、先を見通した
マネジメント会計情報（注）をもとに、行うことです。

（注）経営者の意思決定に役立ち、キャッシュフローを「安心」の状態に保ち、収益力を
高めるための、部門別（部署別・商品別・得意先別・仕入先別等）の管理会計のこと
です。税務会計との違いは、税務会計は過去の実績にもとづく納税計算が目的なのに
対して、マネジメント会計は、現在・未来を見通して刻々と（即時に）経営情報を
経営者に提供して、未来のビジネスチャンスの獲得やリスクに備えることができる点
です。　ライバルに差をつけるには、体得することがNO1 になる条件であります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　**セミナー等のご案内**　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

■経営特くんゲーム（マネジメントゲーム）のお知らせ■

◆第６１回以降の「**トライアルゲーム**」（半日、１日コース）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
日程が決まりましたのでお知らせします。本格的な経営特くんゲームを体感できます。
電卓およびPC 機を持参ください。（エクセルによる自動決算を行うため）

１）第６１回　　８ 月２６日(土)　１0:00～１８：００（１日コース）

●開催場所「経営特訓道場」
JR 駒込駅南口　徒歩７分　　東京メトロ南北線駒込駅１番出口　徒歩６分

＊＊

◆経営特訓士資格認定講座◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

◆経営特訓士インストラクター資格認定講座◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

◆お問い合わせは　URL　http://keiei-tokkunshi.jp/

次回以降の講座日程は決定次第、改めてご案内します。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

◆経営相談は

http://xn--fiqztj72ae5m.net/　中小企業．Net

の「お問合せ」を開き、必要事項をご記入のうえ、送信してください。

◆次回８月１１日（山の日）は夏休みのため**休刊**いたします。
２４９号は８月１８日(金)になりますのでよろしくお願いします。
良い夏をお過ごしください。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

一般社団法人　経営特訓士協会（略称：ＫＴＧＡ）
URL　http://keiei-tokkunshi.jp/?mail

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者：　理事長　平本　靖夫、　　編集長：石川　昌平

配信解除ＵＲＬ：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

https://1lejend.com/stepmail/delf.php?no=300444